

『建設物価 建築費指数[®]』

2024年12月分の指数データを公表

一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：白土昌則）では、同会ホームページにて毎月公表している『建設物価 建築費指数』について、2024年12月分の指数データを2025年1月10日13:00より公表いたします。

建築費指数は、建物を建築する際の工事価格の変動を明らかにすることを目的に作成されており、物価としての建築費の時点間や地域間での比較や、建築費の動向に関する時系列的な観察が可能です。

■2024年12月分の指数動向（工事原価指数 東京）■

▶集合住宅(RC造)の指数は、134.6(暫定値)と前月比で0.7%増、前年同月比5.4%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の建築細目[+0.58]、上記以外の設備細目[+0.09]、鉄筋加工組立(工)[+0.05]などの6細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：鋼材(材)[-0.00]の1細目

▶事務所(S造)の指数は、135.8(暫定値)と前月比で1.2%増、前年同月比4.7%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の建築細目[+1.07]、上記以外の設備細目[+0.10]などの6細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：鋼材(材)[-0.02]の1細目

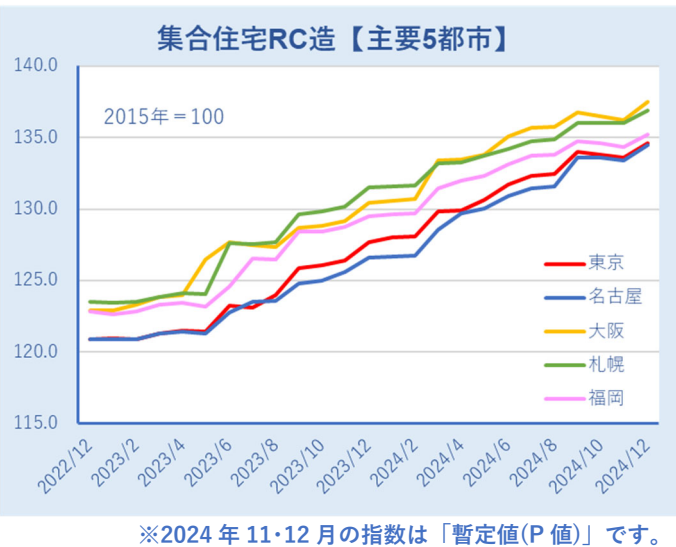
▶工場(S造)の指数は、134.3(暫定値)と前月比で0.5%増、前年同月比3.8%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の建築細目[+0.38]、上記以外の設備細目[+0.10]などの6細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：鋼材(材)[-0.02]の1細目

▶住宅(W造)の指数は、139.5(暫定値)と前月比で0.2%増、前年同月比4.1%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の建築細目[+0.07]、上記以外の設備細目[+0.04]などの5細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：なし

■工事原価指数グラフ■



■工事原価指数値■

集合住宅RC造【主要5都市】		※2015年=100				
年月	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡	
2023年12月	127.7	126.6	130.5	131.5	129.5	
2024年1月	128.0	126.7	130.6	131.6	129.6	
2月	128.1	126.7	130.7	131.7	129.7	
3月	129.9	128.6	133.4	133.2	131.4	
4月	129.9	129.7	133.5	133.3	132.0	
5月	130.7	130.0	133.8	133.7	132.3	
6月	131.7	130.9	135.1	134.2	133.2	
7月	132.3	131.5	135.7	134.7	133.8	
8月	132.4	131.6	135.8	134.9	133.8	
9月	134.0	133.6	136.8	136.0	134.8	
10月	133.8	133.6	136.5	136.0	134.6	
11月	P133.6	P133.4	P136.3	P136.0	P134.4	
12月	P134.6	P134.5	P137.5	P136.9	P135.2	

■指数動向に寄与した主な細目■ 詳細な市況は <https://www.kensetu-bukka.or.jp/> をご覧ください。

プラス寄与

原材料費の上昇や人件費の高騰を背景としたアルミ製・ステンレス製の建築金物の設置費（材工共）の値上げや、人手不足を背景とした鉄筋組立加工費の高騰が、指数動向のプラスに寄与した。

マイナス寄与

長引く建築需要の低迷を背景に販売店間での受注競争が激化し、形鋼などの鋼材価格が続落し、併せて仮設用鋼材の下落が、指数動向のマイナスに寄与した。



【本件に関するお問合せ先】

※「建設物価 建築費指数」は建設物価調査会の登録商標です。

一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 経済研究課 担当：伊沢 Tel：03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号 フジスタービル日本橋 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指数はコチラ → https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_kentiku/